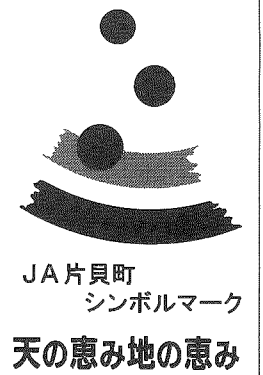


発行所 片貝新聞社 千代田市片貝町10367-4 TEL・FAX 0258-84-3246 編集発行人 吉原芳郎 題字 黒崎敬淑氏



### 小林市議の一般質問で明言す

## 佐藤家跡地購入ほぼ決定!

### 町民待望のふれあい公園として整備

「この数年、町民の多くが市に購入を希望していた佐藤家跡地が、いよいよ実現へ向け動き出した。小出市長が購入して「ふれあい公園」として整備する旨を明言したため、片貝町協議会、地元町内会を初め大勢が陳情等の努力を継続していただけた。ようやく胸をなでおろしている人が多い。



▲小出弘市長

この発言は9月19、20の両日開催された第三回定例市議会一般質問の二日目の20日、小林光紀市議(51、茶畑)の質問に対して答えて明らかにしたものだ。



▲小林光紀市議

「市が現在の市立片貝保育園とそのグラウンド(本来は児童公園)のために部分的に購入、現在中途半端な面積としてしまった責任は市当局にある」と展開。次に本来は佐藤家が市に寄贈するのが一番いい旨の論を展開した。その理由として佐藤佐平治翁の遺徳を残すには、子孫が利殖に走るべきではない。市に売却

人を買ったことでも有名で、そのみと解釈している町民が多いようである。それが今もなお、大規模な炊き出しを行ない、近郷近在の庶民を助けたので、その評判を聞き速く結果(現在の津南町)から頼ってきたのだ。

### 安達市議 官官接待を問う

安達市議(50、3回、公和、八島)は、現在全国的に話題になっている官官接待について正した。市長は「食糧費は千七百八十四万八千四百九十九円。うち国、県職員と諸事業推進のため懇親を行なった食糧費は三十四万二千二百三十六円

### 佐藤家跡地を 購入大歓迎

佐藤佐平治家の跡地約四千平方メートルが、ようやく市によって購入され、公園として整備されることになった。購入された跡地が、八月で早く購入せよ」と主張している小欄としても心から喜んでいて一人である。

しかし、町民の極一部では未だに異論を唱えている。その功績を唱えているように、いぶかしんでいるところである。異論や反論は、それは一定の民主主義のルールにのっとったものであらねばならず、それに逸脱する時、その意見は反対の

## 主張

地主を支えていたのは多くの小作の血と汗、という論法は間違っている。しかし、それをここで持ち出し、あたかも佐藤家の遺徳はまやかしかつた外れである。その時代は地主と小作の役割

高齡化社会を迎え老人福祉施設の方がより必要ではないか。以上の論旨を展開してしめくくったという。(二次的な取材ではあったが、複数の人から取材して、片貝町全所に配布された同市議後援会の会報の二号と三号とほぼ同じ論旨であることが分かった) これに対し小出市長は、佐藤家の土地購入の陳情があげ、自治体に寄付するケースもあり、自治体が購入する場合は国あるいは県指定文化財であるのがほとんどであるが、佐藤邸はその価値がないのでは、と展開。最後に公園がそれほど重要性にかられているのか。片貝まじりの駐車場の抜本的対策がまだではないか。

「片貝町の中心部に位置していること、片貝町には都市公園が一方所もないこと、由緒ある土地を後世に残していきたい」との地域住民の意向などを総合的に検討した結果、都市公園として「ふれあい公園」を整備しようと思う」と明らかにした。

### 今回の一般質問

- 1日目
  - ①入札談合について
  - ②7・11と7・17集中豪雨の災害復旧について
  - ③農業施設、農業災害復旧事業に市補助金の上乗せについて
  - ④養鯉池の災害復旧について
  - ⑤保健医療福祉計画の目標達成について
  - ⑥国立病院、療養所の政策医療再編成等に関する懇談会(中間答申)について
  - ⑦民市行政審議会の答申を新潟地方行政審議会の答申を所統廃合について
  - ⑧農林水産省北陸農業試験場作物育種研究所(蚕糸試験場)の廃止について
  - ⑨広川寛一市議(72、3回、政和クラブ、千谷川一)
- 2回目
  - ①高齡化対策の老人保健施設について
  - ②日本貨物鉄道(千谷川共)同住宅及び用地の処分について
  - ③小千谷市農道維持管理規程について
  - ④安達市議(50、3回、公和、片貝町八島)
  - ⑤高齡者の住宅改良事業について
  - ⑥佐藤勝太郎市議(54、2回、日本共産党、稲荷町)
  - ⑦競艇の場外舟券売場建設問題について
  - ⑧市長の政治姿勢(消費増税問題と寒冷手当削減問題等)について
  - ⑨中学校給食について
  - 2日目
    - ①小林光紀市議(51、3回、すいせんクラブ、片貝町茶畑)
    - ②佐藤家の土地購入について
    - ③宮崎正純市議(54、1回、市民クラブ、吉谷滝谷)

### かたがひ春秋

片貝まじりが終関係者の努力に拍手を贈った。二日間共雨を打ち、昨年露店商が空っぽになった土曜日を占拠、一般に売りつと重なったため、荒稼ぎしていたのを見事にシャットアウトした。万入という過去最の大きい評価出来る。秋である。市内一の規模を誇る町民運動会、記録や勝負にあまりこだわることなく、和気あいあいのうちに老若男女が町を駆け抜ける町民祭等々、片貝らしさの行事が、面目躍如といったところ意外に思う。

### 集めまゝす

- 今日1日AM 9:00
- リサイクルかたがひ 資源の再利用とゴミ減量を目的に、月一回定期活動を行っている「リサイクルかたがひ」は、10月の活動をきょう1日午前9時から9時半まで、片貝支所前で開催する。回収する品目は新聞紙、雑誌、ダンボール、空き缶(スチール、アルミ)、発泡スチロール、布類、乾電池など。毎年収益金で小学校、中学校に品物を贈っている。
- 協議会長の動き
  - 8/27 敬老会の演芸についての打ち合わせ
  - 9/9 まつりのお囃子コンクール審査
  - 津南町結束の一行を接待市企画財政課長と対談
  - 9/14/13 三役会議 敬老会の打ち合わせ
  - 9/18 おぢやまつり反省会(於サンブラザ)
  - 町民運動会打ち合わせ
  - 9/19 理事会 敬老会について
  - 9/19 評議員会 同 関 小林吉原の三市議(年齢順、安達市議は欠席)を招いて佐藤家の土地の件で意見を聞き、各町内会長も質問や意見を述べる
  - 9/20 早朝市長と面談
  - 市議会傍聴
  - 9/22 国立療養所西小千谷病院を守る会幹事会

### 関議運委員長 適確紛糾防ぐ

初日トップの長谷川市議が談合問題を取り上げ、再質問で業者の名前と担当者名まで具体的に明らかにし、騒然となった。ここで関議運委員長が「休憩を要求し、当局と長谷川市議の間に、問題が問題だけに調べてから後日きちんと解答する処置に結びつけた。関市議が割って入らねば紛糾していた可能性が強い。

### 吉原市議 アキレス腱切る

吉原正幸市議員(45、政和クラブ)は、政治クラブ、高見は去る8月8日夜、片貝中体育館で片貝剣道少年団の指導中、左足アキレス腱を切斷、現在魚沼病院に入院中。市議会には外出許可を取り出席している。退院は九月三十日。

### きょう1日 敬老会開催す

片貝町の最高齢男性は、二之町の松井周一さん97歳(明治31年1月13日生)で、市内男性の中では三番目、女性も含めた全体では十番目。最高齢女性は新屋敷の野中セツさん99歳(明治29年9月5日生)で、市内女性の中で四番目、男性も含めると六番目。

